今週の話題

部内に優勝旗を寄贈
四山の松本泉さん

四山支部ロ方開発職域分会の地域対抗ソフト・ボール大会が廿一日火曜日一番万昇坑の後四山グラウンドで行なはれ大会はリーグ戦で土曜日迄の五日間作業後の疲れも見せず熱戦が続けられ職鉱共部内の明朗と来るべき賃闘への団結を図る上に大変役立つて居る

この部内大会に部内員で前現場安全委員の松本泉氏から保安の協力を謝し明朗な職場を固立する事を念じ優勝旗が寄贈された。

松本氏は仕事熱心で部内員の信望をあつめ、一昨年は鉱業表彰、昨年十二月には所長表彰を受けている。

某日松本さんの社宅を訪れると丁度三番方上りで寝んで居られたが快く応答を迎え入れ優勝旗を贈る気になつたのは明朗な気分を保つ事が保安確保の上に何よりも大切な事である事を兼々痛感していたからであり、ソフト・ボールなら誰でもやれすべてのスポーツがそうであるように気分を明るく爽かに保つ上に役立つと考えたからです。皆さんによろこんで頂けてこんな嬉しいことはありません。

と温顔をほころばせながら語つて下さつた。

因みに優勝旗は二千円程かかつた由で、松本さんは昭和廿五年から今年四月改選迄で運統四期、現場安全委員をつとめ、その間絶始至誠一貫保安業務に精励、現在ロ方開発部内にあつて仕事一筋に生きる健実な人柄、奥さんの母子さんとの間に一人娘の節さん（十六才）がいる

寄贈の優勝旗と松尾泉さん

第二組合が暴力振う
芦別の労働部長が重傷
日鋼室蘭首切斗争いよいよ深刻

いま三井の首切闘争以上の首切り反対に血みどろの闘いを続けている労働者がいる。それはかつて戦艦「大和」や「武蔵」の鋼板、大砲をつくつた日本製鋼室蘭工場の労働者の諸君だ。戦後発電機や船舶をつくつて平和産業をつゞけていたこの工場に、再びアメリカ人技師が入つてくることによつてプリゲート艦の修理や砲の生産にのり出し、労働強化を来し、ついには四人に一人の首切りが出され「あくまで闘う、敗けたら終りだ」のかけ声のもと百余日の死闘がつゞけられ第二組合の分裂により応援の三井芦別の労働部長が重傷を負つた事件も起つた。

この製作所（室蘭、広島、横浜）においてもその発表を行つた。その発表整理人員は九七六名。

四人に一人の首切り

昭和二十九年二月十五日、平均三千円の賃上げ要求を決定し、四月一日無記名投票の結果「争議権行使並びにその指令権を日鋼労連に委譲する」ことを決定、スト権を確立した。

しかし交渉は企業不振、他社と比較し低くはないという理由の会社回答で難航せず、定期昇給でも例年六%に対して約二%を回答したに過ぎず、組合は争議指令、休日出勤拒否を行い、ついに四月二十六日二十四時間、五月八日七十二時間（四十八時間で中止）を行つた。会社はこれに対して株主総会で五億七千万円の赤字を計上し、五月二十九日の団交で暗に首切りを匂わせ、ついに六月十六日、会社は本社で人員整理をふくむ企業合理化を団交議題とするとも通告して来た。

組合職制を利用

組合は希望退職者に関する件を含め、組合員である係員、班長、班員に対し具体的問題に入つたが、会社が最も渋つたのは要求を容れる場面的に拒否してきたが、七月五日長補の進行議務担当者に平常通り会社は団交打切りを宣言し、一方解雇拒否者に作業を与えるよう指示的に合理化を実施することを通告して来た。七月七日、組合は首切り反対主婦の会を結成し家族ぐるみの闘争態勢を強化した。

七月八日室蘭製鋼所のみ希望退職者が出なかつたので、会社は解雇通告書を配達したが全員これの受領を拒否した。

七月九日組合は会社の一方的な解雇を認めないという基本方針に立つ。

七月十五日、会社は完全就業を中止しない限り、工場閉鎖を行うと通告して来た。

二十一日、会社は被解雇者が就業していること、残留者のタイム・レコードの未押捺は生産管理であり、賃金は支給できない。又組合が一昼休みを利用して、解雇理由に答弁書を提出したが、会社は答弁書を配達したが全員これの受領を拒否した。

ロックアウト突破
全員が就労

順風寮の寮団中毒事件に関する団体交渉は、廿一日要求書提出以来調査期間を中二日取つて廿四日午前十時から三川鉱職員クラブで開催

△組合側＝酒井支部長始め各部長のほかオブザーバーとして寮生代表の土井自治会長、切口同副会長

△会社側＝安田鉱長以下林田、吉池、稲用各副長、樋尾人事係長ら

が出席、鉱業交渉の結果午後七時に至り全要求を百%貫徹、たまたま同日午後二時四〇分頃乙方開発がマイト運搬の問題に端を発して職場で集団交渉を行う間全員坐りこみを行うなどの事態も発生して、間接的ではあるがこれが会社側に大きな圧力をかけ、交渉を有利に導いたことも見逃せない事実であり、酒井支部長も「寮生全員の決闘が組合を動かし、更に支部組合員の現場闘争の締りあがりがあつたからこそ曾つて前例を見ない要求百%獲得と云う輝しい成果をもたらし得たものと思う」と語つた。

交渉闘争組合側は事件を糾明、会社側の責任を追及したに対し会社は「管理上の不注意から斯様な事件をひき起し誠に申訳ない・今後かゝる問題を起さないよう万全の努力を傾注します」と謝意を表し、具体的問題に入つたが、会社が最も渋つたのは要求を容れる場合合理化にヒッを入れると云う事であり、これに対しては「事人命に関係する問題に経費を云々するのは以ての外だ、会社は責任を痛感して居ないのだろう」と猛烈に反ばく、遂に最大の難関であつた補償問題でも会社側を完全に屈伏せしめた。

順風寮問題結論
順風寮問題要求を百%獲得
これも現場斗争の盛上り

◇炊事場設備

1、冷蔵庫の件＝早急に修理を為し、十度以下となる様にする。

2、炊事場自転車通過の件＝別に自転車小屋を新設する。尚管理上の責任所在に就いては本鉱自転車預りに準ずる（紛失の場合は会社が弁償）

3、西側日覆の件＝直ちに実施する。

4、蠅、蚊、蠅等の駆除に就いて＝尚不充分と思われる所には金網等を設置すると共に薬物駆除も併せ行い徹底を期する。

◇食堂設備

1、食卓十個、新品と取替える。

2、食卓掛としてビニールを購入する。

3、椅子は個人掛とする。

4、食堂内自壁はカゼイン等で洗い新鮮にする。

◇炊事関係者の教育

1、月一回乃至二回調理教育等炊事関係者の教育を行う。

2、材料購入に就いても新鮮且、栄養価の物品購入に努力する。

3、献立に就いても寮員の世論調査等を行い安価にして且嗜好に合う様に調査を行う。

◇休業者の取扱い

組合要求に依る補償と、[illegible]を乗ねて、金一万円を一括支給する

◇其の他の施設

1、炊事場入口手洗場水道設置＝要望に副うものを設置する。

2、小便所便器取替＝実施する。

3、消火用バケツ補充＝補充する。

4、食器熱消毒実施＝実施する。

5、漬物入れ蝿入らず設置＝設置する。

6、カンテキ防蝿装置＝研究実施する。

7、炊事場入口既延長＝実施する。

8、非常用階段修理＝実施する。

9、各部屋施錠完全実施＝不充分のものは実施する。

前段闘争は身近な問題から
マイト運搬問題で乙方開発坐り込む（三川）

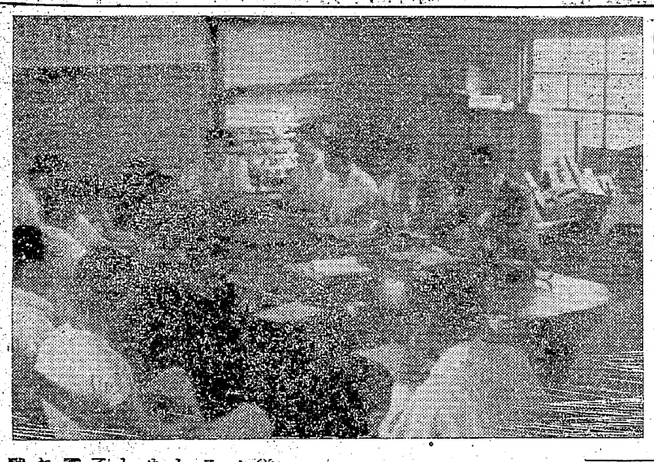
従来掘進発山は爆キは勿論、マ員の面に主席に対する非難が高く坑内イトも係員と分担して運搬して居るが、たまたま係員より多く運搬して居る者もある状況で、作業に影響するし、何と云っても不公平しい要望もあつたので、廿三日乙方開発の三番方繰込みの際小森委員がこのことを主席係員に申入れたところ主席は何等返答もせず黙殺したので、その日入坑後組合で解決、廿分の入坑遅延で全員入坑した。

これが対策を委員間で協議した結果はつきりすべきだと意見の一致して居る者もある状況で、作業に影響を見たので、翌廿四日繰込前に職場常会を繰込場で持ち、この問題を「規則規程通り行う」と云うことに決定したので直ちに全員繰込場に坐り込み集団交渉に入つたが、「マイト運搬は乙方開発の職場会議で解決、廿分の入坑遅延で全員入坑した。

加藤分會長談

主席は代表者の方が改めて協議されること思つて返事をしなかつたと云つて居るが、誰が云つてもこのような問題は採り上げ、すべき簡単な事柄なのに、こんな事が職場を暗くする原因になります。

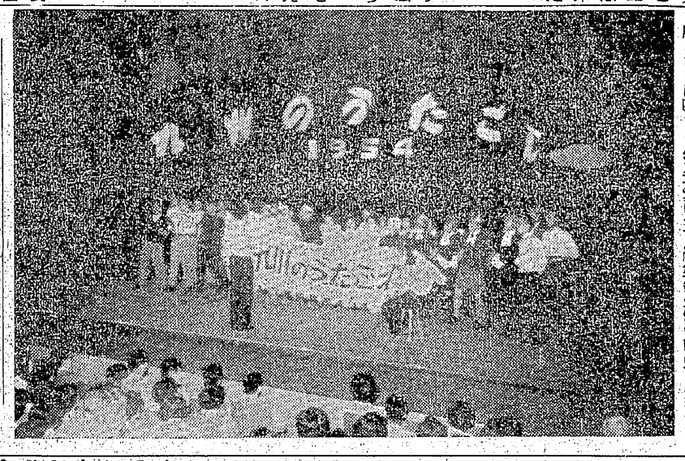
（写真は乙方開発の職場会議）



感激のるつぼと化した九州のうたごえ

會社暴力團て對抗

炭労情報によると、九月二十五日に第二組合だけを就労させようと会社は工場内立入禁止の仮処分をしたが、このため第一組合は直ちにピケをはつたが、武装警官隊と恥じて五人家族が六千円ぐらいの生活をしています。朝一度だけ外米と麦のごはん、あとはジャガイモを食べていますが、手供の給食費や交通費など最低の現金すら感じるにまかせず、つらい思いです。しかしこの闘いに敗けたら全国の皆さんに申しわけがないと頑張っています。



一緒に歌いたい

編集部長　平島敏治

私は性来オンチでとても人様の前でなんか、歌なんてとんでもないという部類で、自然歌を覚えようなんて思つたことも努力したこともなかつた。しかし因縁というものは妙なもので、組合に嚮を置くようになつて專ら文化方面を担当するようになり、製作支部のコーラスを組合側のお世話方ということで、労働者主催の合唱コンクールなどに、大牟田代表で九大の医学部の講堂に、行動をともにしたが、歌が好い悪いは別にしてテモ私が歌なんて、という感をとくに深くしたものであるが、しかし昨年の全国以来労働歌を歌えと執行員が居るといわれては赤恥もものだし、兵隊で無理矢理歌わせられた経験から軍隊式で悲壮な覚悟で歌っていたら、どうやら人につ

ブログラムは第一部九州のうたと、第二部九州各産業別のうたと、第三部特別出演、第四部交流の絵食堂や交通費など最低の現金すら感じるにまかせず、つらい思いです。しかしこの闘いに敗けたら全国の皆さんに申しわけがないと頑張っています。

悲しみと憤り
久保山さんの死に寄せる

第五福龍丸無線長久保山さんの死は最初の原水爆実験犠牲者として日本は勿論、世界の耳目を聳動させた。日本国民として、この到底ない一人の男の死に対しては名状し難い哀惜と痛憤の念に打たれ、各方面で大きな反響を捲き起している。こゝには三鉱労組における執行部、組合員、家族の声の一端を伝える。

久保山さんの死を無駄にすまい

書記長　河野昌幸

久保山さんの死は、単に久保山さん個人の問題ではなく、全人類の不幸を意味するものであり、特に前後三回も原水爆の洗礼をうけた日本の被爆者を代表するものとして国民等しく胸に銘みこませる必要がある。この厳粛な事実を、今後原水爆実験に使用反対運動を通じて二度と繰り返さない為の強い教訓として生かすと共に、その背後に控える戦争の惨害を直視し、戦争そのものゝ絶滅を世界に訴え平和運動の第一線に立つ組織労働者として、久保山さんの死を無駄にしないようにしたいものである。

悲しみより怒り

三川支部　原田さん

悲しみよりも心の底から怒りがむら〳〵とこみ上げて来た。原水爆実験は矢張り絶対に止めさせねばならないと思う。

補償を有利に

三川支部　福永さん

誠に残念に思う、久保山さんの死は金銭には変えられないが今としては矢張り万全の補償の問題を成るべく有利に一日も早く解決をつけて貰いたいと思う。

原爆實驗即時中止

日井分会　木下米子さん

アメリカ側では洞窟丸の犠牲者にたいする補償と同様といっていれる。

補償で頑張れ

日井分会　林田なみ子さん

小川さんと全く同感です。せめて御遺族の生活をなんとか不安のないように補償の問題で頑張って頂きたいと思います。

全世界に訴えよ

日井分会　小川文子さん

身をもつて原爆実験の被害を蒙むつた久保山さんのような人がその実体を世界に訴えて欲しかつたとくなられてほんとうに残念でした。この上は残つた私達も愈々平和を守るための闘いをこれ迄以上もつと真剣におし進めなければならないと思います。

補償で頑張れ

日井分会　林田なみ子さん

小川さんと全く同感です。せめて御遺族の生活をなんとか不安のないように補償の問題で頑張って頂きたいと思います。

支部長杯繞り熱戦展開
初の三川支部地域分會對抗ソフトボール大會

三川支部では二十四日新港グラウンドで初の全地域分会対抗三十四チームが参加してソフトボールの高さ一尺余でその把手には鳩ラを試合を遂行する。全分会は全力を止まらせた新鮮なデザインで文化あげて晴れの支部長杯の争奪を目的センスが多分ににじみでした支指してその技を競い、当日は熱戦部で自慢のしろもの。この催しは珍戦（？）の続出で盛況がしのば全地域分会の参加により競技を通れる。

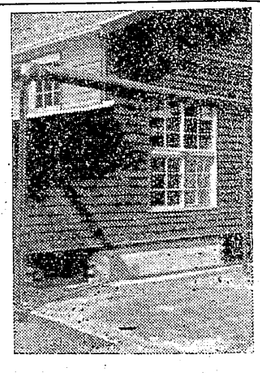
なお当日の花形である支部長杯は

寄贈のカップと酒井、児島正副支部長

歩増記入で會社に交渉
四山の開發機械

四山支部開発機械第一番は先週職場常会を持ち歩増記入及びゴウダテの問題につき仕事したその日、本人に話をして職制の上決定記入するよう会社側に要求する事とし前後二回交渉を行つた結果その通る事が明らかにされたので、廿七日の安協でカツペ、採掘方式の変更を会社に申入れた。これに対し会社側は手袋の支給、カツペ操作の方法を約したが、採掘方式の変更については鉱長不在のため帰山を待つて話合を行う事になつて居る。

實を結んだ現場の要求
完工近い四山の乾燥室



乾燥室の外観

保安確保は先づ服装から云うのが第一番だが、定説であるが、坑内から上つて汗と炭塵に汚れた坑内着を洗つても直ぐに乾かないのではどうしても裸体にれておけば風呂から上る間にちゃなり勝ちなので四山乾燥室の設置を強く会社に要求して居たが、この度迄に建坪約廿坪のピンヤリした乾燥室の隣りに建坪約廿坪のピンヤリした乾燥室が建ち上つた。

また配管工事が済んで居ないが内部は数十の小さな挿入風の小室に分たれ、この中にぬれたものを入れる。

山現場安全委員会完工が待ち遠しがられている。

初の外來炭婦協
三川支部で結成さる

三川支部外来十区の地域分会並に（三川支部長、橋本炭婦協支部長、長洲動労会、緑ケ丘運合分会）規約審議等を終り賃金を遡出、午後一時大会を終つた。

この日午前九時府本方面よりの参加者に続き逐次増加、十五号台風本大会の異彩は外来炭婦協の結成で、三鉱のトップであるだけに関の影響で交通の杜絶した一部を除係者間には一部懸念も見られたいて十時三十分、分会員六五名が、委員会案に相違して、会場一番乗りは炭任狀四六名にて開会、議長に江口婦協協加入の方々で関係者を驚かし健介氏、副議長に大竹貴秋氏を選び出席者に入り、スローガンの採択、橋本炭婦協三川支部長歓任狀四六名、炭婦協四〇名、委員会長挨拶、経過報告、メッセー

三人の方に生活状態を聞く。六時誠意の熱演で司会者としてほんとうに頭の下る思ひでした。外は雨起、八時食事、お茶は食事の前に飲めたが、外出は自由出来がまない。よんどころなく外出する時は食事の時間におくれたら食べさせてはもらえぬとのことであつた時々方々から慰問の品が届けられる。おくられたお菓子は皆に等分にして居ました。御老人は夢からさめたようにしておられた。

最後に私の御挨拶を申し上げる。やがてお部屋へ帰られる御老人は一人の方も、この雨の中をほんとうにとの方も、ご苦労ございましたと喜ばれ、中ございました。

十一時いよ〳〵宴会に移る。老人手を合せておがまれる方が感人もあつた。私は涙が流れて仕方がなかつた。

光る感謝の涙
大雨衝いて養老院慰問

三川炭婦協では廿五日、折からの午前九時二十分前日電話連絡を取り大雨を冒して荒尾、大牟田の両養老院を慰問した。大牟田班約五十名、荒尾班六十名、老いて寄る辺もない老翁の人達に慰問の御菓子を贈ると共に、真心こめた会員の演芸にこの日ばかりは憂さも淋しさも忘れさせた小春日和を有意義に過ごした。九時し、夕午後一時過ぎ帰路についたが、炭婦協の結束した力はただ単に闘争の時だけでなく、こんな時にも遺憾なく発揮され、組織の強さを一入であつた。

決定の下にはたとえ大雨でも欣然参加する会員の姿に元島会長の感

養老院を訪問して

本所　野田　ヤエ

九月二十五日、私共はかねて有事の一つであつた養老院の慰問を行つた。

三川炭婦協十区分会

△外来地域分会

分会長　上島茂次
副分会長　大蹴真秋
〃　江口健介
会計　吉丸重蔵
監査　堀川満雄

△炭婦協十区分会

分会長　魚住ウメノ
副分会長　西川サヨ子
〃　上島モモエ
会計　山崎五月
監査　堀川ミツ子
総務　江口ワカ子
〃　宮原博司
〃　橋本末人
〃　中村義雄
〃　岩野一徳
〃　吉田博美

お父さんを大切に…
三川炭婦協坑内見学始まる

お父ちゃんが今日帰可愛想に思えたことはありません。主人を大切にすること、通勤列車等で家族は必ず席を譲ることを提唱致します。

勝丘さん

空気が悪いですね、胸が締められるような気がしました。あれじゃ映画が出るのも当然ですね

桂町Yさん

入坑しただけで賃金になりますよ。今く賃金は安いと思いました。

鷺町K さん

昨年の見学のとき、私共の町内からは一人も見学が許されませんでしたが、今度は炭婦協なんで見学が出来ました。

白秋座　ジョニー・ダーク　6ー12
柳映　地獄への退却　6ー12
國際劇場　二十四の瞳　ふり袖月夜　6ー12
各書座　母の初戀　月よりの使者　6ー12
大天地　母の初戀　月よりの使者　6ー12
新世界　わが心の呼ぶ海道一の暴れん坊　十代の秘密　6ー9
友楽館　一本刀土俵入り　春の若草　伊豆の艶歌師　6ー9
宇宙館　真紅の盗賊　知らぬの弥太郎　雲は天才である　6ー9
銀星館　二十四の瞳　ふり袖月夜、日本の虎、ノックは無用、たん子たん吉　豆狸合戦　6ー12
大天地　君待船　大アマゾンの半魚人　6ー9
大陽館　戀風街道　土曜日の天使　6ー9
大天地　三つの愛　花の光彩　水戸黄門地獄極楽　大騒ぎ　6ー7